

第 82 回メーデー宣言(案)

メーデー参加の皆さん。

3月11日、東北から関東地方は大規模な地震・津波による災害によって、2万7千人以上が死亡・行方不明となり、13万人以上が今も避難所生活を強いられています。

私達にできることは、第1に震災で壊滅的な状況に陥った地域の復興支援です。全国的な支援と同時に、政府に対しては財政投入も含めた抜本的な救済制度を求めましょう。第2は震災対策です。私たちの住んでいる街の防災計画を自治体と一緒に進めましょう。第3は福島第一原発の事故を教訓として、日本のすべての原発を総点検すると同時に、自然エネルギーを主体とする政策への抜本的転換を国に求めることです。

メーデー参加の皆さん。

今回の震災では福島第一原子力発電所の放射能汚染で東北地方の農業・漁業に大きな影響を与えました。震災の影響による日本経済の失速は、働く者への影響も深刻です。復興を口実にした消費税増税は、被災者の生活再建にも逆行するものであり、絶対に許すことはできません。政府は震災の復興財源が必要な時に、思いやり予算で駐留米軍の支援を継続しました。また、アメリカの圧力に屈して TPP（経済連携協定）に参加すれば日本の第一次産業は壊滅的な打撃を受け、東北地方の経済も成り立たなくなります。

メーデー参加の皆さん。

- ・すべての労働者の賃上げと内需主導の経済で景気の回復を求めましょう
- ・大企業の内部留保を被災地復興支援に使うよう求めましょう。
- ・消費税増税反対、大企業・資産家の優遇税制を中止させましょう。
- ・米軍への思いやり予算と軍事費の削減で被災地の復興支援を実現しましょう。
- ・原子力発電推進の政策を止めて、エネルギーの抜本的見直しを求めましょう。
- ・TPP参加を許さず、日本の食料を守りましょう

メーデー参加の皆さん。

メーデーの歴史は常に国民の苦難解決をスローガンに掲げて闘ってきました。私達はその伝統を受け継ぎ、第82回岡山県中央メーデーは「被災地復興と日本経済の再生、国民の命と暮らし最優先の政治と経済への転換をめざすメーデー」として開かれたことをここに確認し、メーデーの成功を宣言するものです。

働くものの団結万歳！ 世界の労働者万歳！ 第82回岡山県中央メーデー万歳！

2011年5月1日

第82回岡山県中央メーデー実行委員会